



小学5年生に食農教育補助教材本を寄付

4月17日、伊万里市農業協同組合が、市内小学校の5年生向けに補助教材本を寄贈しました。贈られたものは、食農教材本『農業とわたしたちのくらし』で、ふだん口にして



↑ 昨年に引き続き今年も寄付をした伊万里市農業協同組合田代組長(右から2人目)

のくらし』で、ふだん口にしている米や野菜、果物などがどのようにして作られているのかや、農産物がどのようにして消費者に届けられているのかなど子どもたちが食・環境と農業への理解を深めるきっかけとなるような内容になっています。



6月23日～29日は『男女共同参画週間』です

～無くそう思い込み、守ろう個性

みんなのでつくる、みんなの未来～

● 問合せ 企画政策課男女協働推進係 ☎23・2115

国は、平成11年6月に施行した『男女共同参画社会基本法』の理解と関心を深めるため、毎年6月23日から29日までを『男女共同参画週間』と定めています。

今年度の男女共同参画週間のキャッチフレーズは『無くそう思い込み、守ろう個性 みんなのでつくる、みんなの未来』です。

このキャッチフレーズ

は『男女共同参画社会の実現と女性活躍の推進に向けた、日本国内、国際社会へのメッセージ』をテーマにした公募で選ばれました。市は、6月16日(金)から29日(木)まで市民図書館で『男女共同参画週間パネル展』を行います。

知っていますか、ジェンダー平等



世界共通の持続可能な開発目標(SDGs)で掲げられている17の目標の一つに『5. ジェンダー平等を実現しよう』があることを知っていますか。ジェンダー平等とは、一人一人の人間が性別に関わらず平等に責任や権利や機会を分かち合い、あらゆる物事を一緒に決めることができることを言います。しかし、今の社会では、個人の希望や能力ではなく、『性別』によって生き方や働き方の選択肢・機会が決められてしまうことがあります。

男女共同参画社会の実現と女性活躍の推進は、日本だけでなく世界共通の課題となっています。そこで、男性も女性も社会的に平等になることを世界中で目指しています。

郷土の文化財

● 問合せ 生涯学習課文化財係 ☎22・1262

史跡大川内鍋島窯跡調査事業

～日峯社下窯跡の調査成果②～

江戸時代の焼き物は登窯のぼりかまで焼成しょうせい(本焼き)されて製品となりますが、この段階では、青色の染付だけの製品となります。色絵製品にするためには、この後に色絵を施し、赤絵窯で再度、焼成して完成します。

登窯は山の斜面に製品を焼く焼成室が連なっている構造となっています。各焼成室の床に製品を並べ、一番下の燃焼室から火を焚たぎますが、それだけでは火力が足りないのです、さらに焼成室ごとに薪を加えて焼成します。焼成中に破損したり、溶着したりした失敗品は、物原ものばらに廃棄されます。

日峯社下窯跡では初期の鍋島焼を焼いていましたが、物原に廃棄されていた鍋島焼などから、鍋島焼を焼成していたのは火力の具合が一番良い、窯中央部分の3

室分程度を使い、それ以外の焼成室は一般製品を焼成していたと考えられます。また窯と物原の間に、他の窯跡では見られない広い空間地があることもわかりました。何のために使われたのかはつきりしていませんが、この窯跡の特殊性を示すものと考えられます。

